



定例会の議案審議、一般質問などの詳細は、上記のQRコードから映像でご覧いただけます。

8月号

編集・発行/藤井寺市議会

☎939・1208

ふじいでら 市議会だより

第3回定例会の日程

【本会議】

9月1日(火)議案説明
9月9日(水)一般質問
9月10日(木)一般質問など
9月29日(火)委員長報告・採決など

【常任委員会】

9月16日(水)民生文教常任委員会
9月17日(木)総務建設常任委員会

※各日10時から開催します。
※日程などは変更する場合があります。

国に意見書を提出

次の意見書を全会一致で採択し、関係機関に善処を求めました。

◎すべてのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める意見書

◎ドナーミルクの利用拡大を求める意見書

令和8年第1回臨時会のあらまし

令和8年第1回臨時会は5月15日に開催され、議会構成の改選をはじめ(7月号掲載)、報告案件など市長提出議案について、本会議を通じて慎重に審議を行い、すべての案件を議決しました。

令和8年第2回定例会のあらまし

令和8年第2回定例会は6月9日から6月30日までの22日間の会期で開催され、令和8年度の補正予算、報告案件、条例の一部改正、人事案件、及び議会提出議案について、委員会・本会議を通じて慎重に審議を行い、すべての案件を議決して閉会しました。

議会だより編集委員会 委員長：松木 洋介、副委員長：水谷 雄路

委員：長尾 匡浩、横山 太喜、生田 達也、國下 尊央、花崎 由貴子

一般質問



大阪維新の会
代表質問

松本 洋介

1 万博レガシー継承の進捗について

質問 大阪・関西万博は「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに開催され、多くの来場者に未来社会への希望や可能性を示しました。この貴重な経験を一過性のイベントとして終わらせることなく、本市のまちづくりや教育にどのように活かしていくのかを伺います。

答弁 大屋根リングの木材を活用したモニメント整備の検討と、ダイバーシティの理念の普及やSTEAM教育の充実などを通じて万博レガシーを継承していきます。

要望 AIやバイオテクノロジー、医療分野など最先端技術に触れる機会をさらに充実させ、大学や企業との連携を積極的に進めることで、子どもたちの探究心や創造力を育む教育環境の整備を要望します。

2 小中学校の適正規模・適正配置について

質問 少子化の進行と学校施設

の老朽化が同時に進む中、子どもたちに良い教育環境を確保するため、学校施設の適正規模・適正配置の検討状況を伺います。

答弁 児童生徒数の長期推計や学校施設の老朽化状況、建て替え費用などを調査するための委託業務を開始し、令和9年3月までに考え方を示す予定です。

要望 適正規模化や小中一貫校も含めた議論を進めるとともに、市民に対して丁寧な説明と情報提供を行うよう要望します。

3 健康増進・フレイル予防・軽度認知障害対策について

質問 健康寿命の延伸は極めて重要な課題です。フレイル予防や軽度認知障害対策の現状と今後の取り組みを伺います。

答弁 オールフレイル対策や認知機能評価の試験的な取り組みを検討しており、地域では専門職による運動・栄養・口腔指導も行っています。

要望 コグニサイズなど効果が実証されている取り組みの導入やICTを活用した継続支援、ポイントが付与されるアスマイルの普及促進を要望します。

4 AI技術を活用した、住民サービスの利便性向上と行政効率化について

率化について

要望 デジタル人材や大阪府へ派遣した職員の知見を活かし、「24時間365日対応の住民相談・窓口案内サービス」の導入に向けた調査研究を令和8年度中から開始することを要望します。

松本洋介の議会質問

の録画映像はこちら



大阪維新の会
個人質問

河井 計実

1 カスタマーハラスメント対策について

質問 改正労働施策総合推進法を踏まえ、本市が職員をカスタマーハラスメントから守るための対策を伺います。

答弁 市民の意見や要望は業務改善につながる貴重な機会として誠実に対応します。脅迫、威圧的言動、不当な要求など、社会通念上許容される範囲を超える言動は、職員の尊厳を傷つけ、行政サービスにも影響を及ぼす重大な問題です。本市では、不当要求行為・クレーム対応集、外部相談窓口設置、法務専門員任用、庁舎内ポスター掲示、職員研修などに取り組んできました。今後は法改正を踏まえ、対応方針の明確化、相談体

制、事後対応、警察との連携強化などの対策を講じます。

要望 カスタマーハラスメントは職員個人への攻撃であり、市民サービスを低下させる行為でもあります。正当な意見には真摯に耳を傾けつつ、暴言、どう喝、長時間の居座り、執拗な電話、不合理な要求には組織として毅然と対応してください。悪質事案は管理職を含む組織対応や警察への通報、法的措置の検討まで含めた方針を明確にし、庁舎内掲示や窓口表示で周知してください。職員を守ることは市民サービスを守ることであり、職員の尊厳を守り抜く姿勢を示すことを要望します。

2 防犯対策について

質問 匿名・流動型犯罪グループ、いわゆるトリックウーによる凶悪犯罪の本市の対策を伺います。

答弁 羽曳野警察署管内防犯協議会、安全なまちづくり推進協議会、防犯委員会などと連携し、啓発品やチラシの配布、市広報紙での防犯特集、防犯キャンペーンを実施しています。新たな犯罪情報を受けた際は、ホームページなどで注意喚起します。防犯カメラは地区要望に対し補助金を交付し、設置場所

は警察署へ相談を促すなど効果的な配置を進めています。

要望 トリックウーは、短時間で詐欺や強盗に及ぶ新しい犯罪です。警察との情報共有を強化し、犯罪情報を迅速に市民へ届ける仕組みを整えてください。防犯カメラは台数ではなく、犯罪抑止効果の高い場所を分析し戦略的に配置することを求めます。高齢者や一人暮らし世帯への啓発や、若者が闇バイトに巻き込まれないための教育など庁内横断の防犯体制を強化し、市民を守る姿勢を示してください。

河井計実の議会質問
の録画映像はこちら



政新クラブ
代表質問

國下 尊央

1 市役所開庁時間について

質問 本市においても、より一層の働き方改革の推進に向け、開庁時間の見直しも検討すべき時期を迎えているのではないかと感じますが、近隣自治体の動向も踏まえ、どのように捉えているか、お聞かせください。

答弁 令和8年4月には柏原



市、6月には富田林市、8月は河内長野市で「開庁時間の短縮」を実施予定となっています。組織運営の効率化は必須であり、限られた人的資源の有効活用と生産性向上の重要性は従前にも増して高まっているものと認識しており開庁時間の短縮化は、更なる業務の効率化を促し持続可能な行政組織の構築に資する施策の一つと考えております。

要望 メリットとしてDXが推進され、経費の軽減も生まれれば、コンビニ交付の料金を現状よりも安くもでき、庁舎内の光熱費も見直せるなどもあると思います。「より質の高い市民サービス」として還元してもらいたいと要望します。

2 空き家対策について
質問 市として防犯という視点で実施している空き家の対策はあるのか、お聞かせください。
答弁 「藤井寺市空家等対策協議会」の委員である羽曳野警察職員より防犯の視点からご意見をいただいたり、所有者に状態をお知らせし適正な管理を促す文書を送付しております。

要望 今後、計画を改定される際は、防犯面における視点での施策も検討し、計画に位置付けるなどして、対策に取り組んで

いただくよう、要望します。

3 資源循環について

質問 民間企業と協定し取り組みを行っていることについて、具体的な成果を教えてください。

答弁 令和7年度の実績といたしまして、小型家電や雑貨などのリユース・リサイクルを行うパストでは、1296kgの引き取りを行いました。持続可能な航空燃料、いわゆるサフ化につながる廃食用油の回収では、1848kgを引き渡しました。

要望 ごみの減量化や、再資源化にも大いに取り組んでいただいていることなど、今後の重要なテーマにしてくださいことを要望します。

4 60周年事業について

質問 令和8年度は市制施行60周年の年ということで、市としてどのようなことに取り組まれているのか、お聞かせください。

答弁 市内のだんじり・布団太鼓が一堂に会するイベント、近鉄パファロースイベント、ご当地ナンバープレート、デザインマンホールなどの記念事業のほか、各種イベントに市制施行60周年記念の冠を付けるなど、60周年を広く発信してまいります。

要望 市制60周年事業を単なる祭りで終わらせず、移住定住につながる好機と捉え、当日の移住相談ブース設置等の仕掛け、事後の効果検証、SNSによる市外への戦略的発信を関係部局の連携で強力に推進することを要望します。

国下尊央の議会質問の録画映像はこちら



政新クラブ
個人質問
岡本 光

1 子ども・子育て支援金制度について

質問 概要や背景についてお聞かせください。

答弁 国が策定した「こども未来戦略」の加速化プランにより児童手当の拡充、育児休業給付の充実等、様々な施策を推進し、施策を安定的に実施するための財源確保として、医療保険制度を活用した子ども・子育て支援金制度が創設されました。

質問 どのような施策に充てられるのかお聞かせください。

答弁 児童手当の拡充、妊婦のための支援給付、こども誰でも通園制度、出生後休業支援給付、育児時短就業給付、育児期間中の国民年金保険料免除など

の財源として活用されるものです。

要望 真に子ども・子育てにつながる施策になるよう国に要望していただくようお願いします。国や大阪府の特定財源を最大限活用しながら必要な財源の確保に努め子育て家庭への支援の充実が図られるよう要望します。

2 道路交通法の改正について

質問 自転車運転者に対して強化された規制や罰則をお聞かせください。

答弁 交通反則通告制度いわゆる青切符が導入され、16歳以上の項目に青切符が交付されま

す。その場合は反則金を期限内に納める必要があります。

質問 交通安全の周知啓発について市はどのような活動を行ってきたのかお聞かせください。

答弁 ホームページ、広報紙に記事などを掲載、また、交通安全研修会も実施しています。

質問 外国人を対象とした交通ルールの周知啓発についてお聞かせください。

答弁 交通安全研修会10回のうち1回、外国人を対象とした研修を実施しており、58名の方が参加されました。

要望 市民が安全で安心して出

かけることができるまちとなるよう道路などのインフラ整備と併せて交通ルールの理解に向けた取り組みを警察や庁内各部局と連携してしっかりと取り組んでいただくよう要望します。

岡本光の議会質問の録画映像はこちら



日本共産党
代表質問
長尾 匡浩

1 市民病院跡地に設置される認定こども園は公立での運営を

質問 藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画後期計画に基づく第一次実施計画案では、再編後の認定こども園の運営形態を公私連携による民設民営としています。一方で後期計画の再編方針では「地域性」を考慮しながら再編を進めるとされています。この地域性には、それぞれの地域において公立保育施設が果たしている役割も当然含まれていると考えるが認識を伺います。また公私連携による民設民営が適当であるとの結論になぜ至ったのかお聞かせください。

答弁 公立保育施設がそれぞれ

の地域で果たしている役割は地域性の概念の中には含まれません。また公立保育施設が担ってきた役割について市が運営に継続的に関わることで一定の担保を行うことが可能となる公私連携が適当と方向づけたものです。

要望 公立保育施設は、地域の子育て支援やセーフティネット、配慮や支援が必要な子どもの受け皿など、地域の中で重要な役割を担ってきました。その役割が地域性に含まれないという考え方は、公立保育施設が地域で果たしてきた役割を軽視するものです。市民病院跡地に設置される認定こども園の運営形態は公立として見直し、今後の再編についても公立で担う方向性を明確に示すよう強く求めます。

2 不登校支援のさらなる充実を求める

質問 児童生徒の多様な学びの場を保障していくためには利用のしやすさや家庭負担への配慮も重要です。教育支援センターウイングの拠点拡充やフリースクール等を利用する家庭の支援について考えを伺います。

答弁 児童生徒が自分に合った学びを選択できるよう多様な学びの場は必要だと認識していま

す。そのため校内教育支援センターの設置や校内スペースを活用した居場所づくりを進め、個々の状況に応じた支援やフリースクールと学校が情報共有を行い出席扱いするなどきめ細やかな支援に取り組んでいきます。

要望 児童生徒一人ひとりに応じた学びや居場所につながる環境整備充実に向け、教育支援センターウイングの拡充を求めます。また、家庭の状況によって学びの選択肢が制限されないようフリースクールの利用負担の軽減について検討することを強く求めます。

3 加齢性難聴者への補聴器購入補助制度の早期創設を

質問 第10期いきいき長寿プラン策定にあたって実施したアンケートでは耳の聞こえについて調査した結果5割の方に聞こえにくい症状があるにもかかわらず、補聴器の使用率が低い結果となっています。補聴器の使用率が低い要因と近隣市町村における補聴器購入補助制度の実施状況をお聞かせください。

答弁 様々な要因がありますが、補聴器が高価であることも要因の一つと考えられます。令和8年度では近隣6市2町で補

聴器購入補助を実施しておりません。

要望 近隣の実施状況を見ても本市は取り組みが遅れていると思います。補聴器が高価であることの認識も踏まえ、早期の補聴器購入補助制度の創設を求めます。

4 通学時の安全対策について

質問 藤井寺南小学校の南門から堺羽曳野線に向かう通学路の歩車分離による安全対策の検討状況をお聞かせください。

答弁 関係機関や沿道住宅の皆様と調整を行い、小学校に近い一部区間西側に車線分離標を設置予定です。残る区間は適宜判断した上で進めてまいります。

要望 残る区間についても早期の安全対策の整備を求めます。



日本共産党
個人質問
木下 諒

1 子どもや保護者が置き去りになるような学校統廃合の進め方は許されない

質問 令和8年度に学校配置検討資料作成業務を実施し一定の考え方を示すとしています。学校施設の適正規模や適正配置の検討は時間をかけて丁寧に議論されるべきです。こういった業務内容を委託するのか仕様書の

内容をお聞かせください。

答弁 児童生徒数の将来見通しの整理、建て替え可否や方法についての技術的な検証と費用試算、再編のシナリオの検討、建て替えなどに向けた1案を作成します。

要望 今回の委託内容には子どもたちや保護者・地域住民の意見を資料作成に反映させる事は業務内容に含まれておらず、作成される1案は「コスト及び面積の削減効果の検討も行う事」となっています。このまま業務を進めるとコスト削減が重視された学校の統廃合案となる事を危惧します。単学級の学校があるのであれば、この機会に少人数学級を更に進め、一人ひとりに行き届いた教育条件を作ることも選択肢の一つだと考えます。

質問 毎年実施されている学校自己診断アンケート結果では少なくない子ども達が、学校に行くのが楽しくない、勉強が分かりにくいと感じています。子ども達や保護者が学校側に何を求め、どんな学校を願っているのか掴むことが重要です。令和8年度に教育委員会として子ども達や保護者から意見を吸い上げ業務内容の結果と合わせて考え方を示すべきではないでしょうか。

答弁 令和8年度に子どもを含めた市民へ幅広く意見を伺いたいと考えています。

2 こども誰でも通園制度の現状と課題について



改革ふじいでら
代表質問
山本 忠司

1 地域コミュニティの活性化について

(1) 地区自治会への加入促進について

質問 自治会が加入促進を目的に取り組みを実施する場合、その地区に対して新たな助成金の支援についての考えを伺います。

答弁 助成制度については、これまでの経緯もあり、区長会とも意見交換を行いながら、検討していく必要があると考えます。

要望 地域コミュニティの弱体化は、防災・福祉などの地域課題に直結する問題であり、自治会への加入促進を目的とした活動支援について、検討をしていただくことを要望します。

2 八尾富田林線整備事業について

質問 藤井寺工区の道路整備、また大和川橋梁の整備について進捗状況を伺います。

答弁 市道堺街道線から北に約450m区間は令和7年度末から文化財調査を中心に工事が行われ、また大和川橋梁の整備ですが、橋脚2基を、令和8年度に発注されるということです。

要望 大和川に橋が架かれば八尾市とのアクセスも向上し、効果は非常に大きいものとなりますので、今後も八尾市と更に連携を強化し、早期供用を大阪府に働きかけを要望します。

3 津堂・小山土地区画整理事業について

質問 現在の土地利用計画について伺います。

答弁 事業区域の西側は物流施設や倉庫、事務所など産業系ゾーン、中央部はスーパーやホームセンター、家電量販店、医療福祉施設の誘致、また南側は住宅開発用地や農地ゾーンとして計画されています。

要望 今後関係機関と協議調整を重ねながら円滑な事業の推進に向けて、サポートしていただくよう要望します。

4 市制施行60周年事業の取り組みに向けての考え方について

質問 市民の方が、ふじいでらに夢と期待を膨らませる「仕掛けづくり」が大事と考えるが、具体的な取り組みを伺います。

答弁 大阪・関西万博のシンボルの建造物であった大屋根リングの木材を活用して、市制施行60周年の記念モノUMENTの制作を検討しています。

要望 万博レガシーの活用は、記念事業との相乗効果も増してくると思いますので、全国から注目を集めるようなインパクトのある内容にしてください。

5 包括的な支援体制の強化について

(1) 福祉の総合相談窓口の充実について

質問 福祉の総合相談窓口の持続可能性を考えた場合、相談員の負担にも配慮する必要があります。そこで、専門性の確保と負担軽減について伺います。

答弁 研修受講などで幅広い知識の習得と実戦でのスキルアップを図ることで専門性を高めめます。また複数の相談員体制で個々の肉体的・精神的負担を軽減させる体制をとっております。

質問 外部の民間施設などとの関係性の強化という点についてお伺いします。

答弁 潜在的に福祉の相談を必要とされる方を把握するために、社会福祉協議会をはじめ民間事業者などとの情報共有と連携が益々重要になると考えますので、会議体の構築などに取り組みます。

要望 市民の方が困りごとを抱えたときに「まずここに相談すれば大丈夫」と安心できる窓口づくりが重要であり、また制度のはざままで支援が届かない、孤立する人を生まないためにも相談窓口の充実を要望します。



改革ふじいでら
個人質問
横山 太喜

1 移住・定住について

(1) 人口推計について
質問 令和7年国勢調査によると本市の人口は61129人で前回調査より2559人減少しております。計画より人口減少が進んでいることについて市の見解を伺います。

答弁 本市の人口は第六次藤井寺市総合計画の推計より943人減少し、想定より厳しい局面との認識のもと今後の施策を進めてまいります。

質問 減少の要因を伺います。
答弁 死亡数が出生数を上回る自然減が主な要因です。また令和6年からの転入超過は外国籍

の転入増加が主な要因です。
(2) 移住・定住施策について

質問 本市のターゲットは子育て世帯ですが増加しているのは外国籍の方です。松原市は子育て世帯などが補助金制度を利用して令和7年度は500人が転入したとのこと。本市も新たな移住・定住施策が必要と考えますが市の見解を伺います。

答弁 新たな施策の実施に向けては検討を進めてまいります。
要望 子育て世帯の増加は住民税などの収増や消費によって地域を活性化させます。令和9年度中に効果的な移住・定住施策を実施してください。

2 健康寿命の延伸について

(1) 介護予防について
質問 ええとこふじいでら体操などの現状を伺います。

答弁 イオンや地区において開催しており体操の効果などを測る目的で体力測定や専門職による講話も実施しております。

要望 体操を継続すると身体機能の向上がみられます。複数回体操に参加すると景品が当たる抽選会に参加できる仕組みを構築すれば参加者増加につながると思います。景品は協賛企業から募り抽選会の模様を広報紙に

掲載すれば介護予防の啓発にも寄与するため検討してください。

(2) アドバンス・ケア・プランニングについて
質問 アドバンス・ケア・プランニングについて伺います。

答弁 もしもの時のためにご自身が望む医療やケアについて前もって考え、家族や医療・ケアチームと繰り返し話し合い共有する取り組みのことです。

3 障害福祉の不正受給について

質問 大阪市や八尾市内に所在する障害福祉サービス事業所の不正請求について本市への影響を伺います。

答弁 当該事業者から本市への不正請求額の合計は約7200万円です。

質問 本市の対応を伺います。
答弁 事業者には返還を求めるとともに府や国に対しても適切な対応を求めてまいります。

要望 ありとあらゆる手段を用いて不正請求分の返還に取り組んでください。また本市は事業所の指定や監査権限を有してい

ないため府へ権限移譲を求めることも検討してください。

4 指定管理者制度について

要望 体育館の耐震化によって複合化は先送りされましたが、今後の再編については市民総合体育館や図書館以外の公共施設も含めて再度検討してください。また近隣市との広域利用についても協議を進めてください。

横山太喜の議会質問

の録画映像はこちら▼



公明党

代表質問

片山 敬子

1 子どもたちを犯罪から守る取り組みについて

質問 全国的に少年が犯罪に負担させられる事件やSNSを端緒とした痛ましい事件が後を絶ちません。小中学校における犯罪被害防止や非行防止に関わる教育は発達段階に応じた内容と指導を進めて行く必要があると思います。そこで専門知識を持つ外部講師の活用体制、講習会の実施はされていますか。

答弁 警察のOBスクールガード

リーダーを雇用し教職員から児童生徒への指導につなげており、また、生徒へ外部講師を招いた講習会を行っています。

質問 犯罪が年々変化する中で、闇バイト、トークリウウの勧誘手口に踏み込んだ指導が行われていますか。

答弁 警察や関係機関、民間事業者と連携を強化し情報モラル教育に取り組んでまいります。

要望 知識を教えるだけではなく、子どもたちが怪しいと気づき、踏みとどまれる生きる力を育む指導をお願いします。

2 こども誰でも通園制度について

質問 令和8年4月から我が党が創設を提唱したこども誰でも通園制度が始まりました。定期的に通園されるお子さんの中には保育士の目線で発達、発育に心配な場合において連携体制など構築されていますか。

答弁 保護者の同意が得られた場合、施設を介して庁内関係課と連携し適切な支援につなげてまいります。

要望 より多くの家庭に届くように周知をお願いします。

3 男女共同参画の藤井寺市行動計画について

(1) 理解の促進について

質問 普及のため講座を行っていますが、固定化の課題があります。今後はSNS活用をしてはいかがですか。

答弁 SNS活用は有効であると考えますので講座に足を運ぶ機会のない世代に情報が届くように工夫してまいります。

要望 SNSに市長に出演していただき家事分担、ワークバランスの本音を語ってもらうなど様々な観点から取り組みをお願いします。

(2) 教育・学習の充実について

要望 子どもたちが性別に関わらず能力を発揮できる学習のプログラム構築を要望します。

(3) 性別にかかわらず自分らしく活躍できる機会の確保について

要望 国の目指している女性管理職を3割は、数字をあげていくだけではなく環境整備、働き方改革、意識を変えて結果的に3割を目指していくことだと思っています。本市の年代別男女比率の推移を考慮に入れ全ての職員が活躍できる取り組みを要望します。

(4) 誰もが自分らしく生きられる未来社会について

質問 万博閉幕後、ウェルビーイングな未来社会の実現に貢献

するためのプロジェクトとしてオオカミベンチが各地を巡回しています。本市に来ていただきたいのですが、いかがですか。

答弁 機会の提供を検討してまいります。

要望 ぜひ、市民病院閉院後の地域の取り組みの一つとしてお願いします。

(5) 防災における推進について

質問 災害時に避難所となる市民総合体育館がリユースしました。工事監査で行かせていただいたところ、ベビーベットのオムツ替えのスペースが見当たりにませんでした。今から工事をすると負担が大きいのので既存の空きスペースや多目的室の一角を利用し速やかな対応が必要ですが、いかがですか。

答弁 議員からのご指摘を踏まえ環境整備に努めてまいります。

要望 対応に感謝いたします。今後は計画策定時に男女共同参画の視点をお願いします。

4 母子手帳のデジタル化について

質問 これまでも要望しておりました電子版母子健康手帳導入の課題と検討状況を教えてください。

答弁 民間企業などが提供する

複数のアプリの特徴やメリット、デメリットにも留意しつつ今後導入検討を進めてまいります。

5 子宮頸がん予防に有効なHPVワクチンについて

要望 HPVワクチンは子宮頸がんをはじめとするHPV関連の疾患予防に有効であり男女ともに接種の意義があります。若い世代の未来を守るために予防できるがんの撲滅の取り組みを要望します。

6 ドックランの設置について

要望 設置の要望をします。

片山敬子の議会質問
の録画映像はこちら▼



公明党

個人質問

伊藤 政一

1 安心のまちづくり

(1) 樹木の維持管理について

質問 市内の神社仏閣・古墳などの樹木の維持管理はどのようにされているのか、お聞かせください。

答弁 神社仏閣は専門業者・ボランティアの方々、各古墳は整備基本計画に基づいた樹木の維持管理を市にて計画的に行っています。

質問 鉢塚古墳の整備計画についてお聞かせください。

答弁 墳丘の保護や危険木の伐採を行い安心安全な世界遺産の古墳として維持管理いたします。

要望 古墳における樹木の維持管理は中長期的に計画・実行しなければなりません。多くの方が安心して訪れることができるよう整備基本計画を進めていただくことを要望いたします。

(他の質疑は省略)

伊藤政一の議会質問の録画映像はこちら▼



公明党

個人質問

水谷 雄路



1 安心安全で暮らしやすい藤井寺市について

(1) 大水川散策道の管理について

質問 今後、舗装整備も含め通行に支障が生じないよう、対応できますでしょうか。

答弁 利用状況や現地の状態を踏まえ、必要な維持補修を適宜実施し、適切な維持管理に努めてまいります。

要望 将来的には舗装整備も視野に入れ、適切な維持管理と抜本的な改善に向けた検討を進め

ていただくよう強く要望します。

(2) 自治会運営のデジタル化について

要望 LINEなど既存のツールを活用しながら、各自治会が無理なく取り組める環境整備。デジタル化を契機として若い世代が自治会運営に参画できる支援を要望します。

(3) 事前防災の強化について

要望 災害を「自分ごと化」としていただけるよう、若年層や子育て世代に届く発信方法の工夫、避難誘導掲示板の増設や多言化の整備を要望します。

水谷雄路の議会質問の録画映像はこちら▼



会派に属さない議員

個人質問

生田 達也



1 持続可能な地域コミュニティの構築について

(1) 自治会が抱える課題の認識と運営負担軽減に向けた「自治会DX」の必要性について

質問 自治会の複合的な課題に対して、デジタル化は解決策として効果を発揮するのか、本市

の見解を伺います。

答弁 回覧板などの配布業務の効率化、役員の時間的・物理的負担の軽減、若い世代の参画促進など複合的な課題に対し横断的に効果をもたらし得る有効な手段との認識です。

(2) 藤井寺市版・自治会デジタル化応援補助金」の創設と予算化に向けた市の見解について

質問 本市には地域産業界と天王寺大学が推進する、厳格なガバナンス管理で電子回覧板機能や災害時の安全確認機能、平時からのSOS機能を備えた自治会専用アプリがあり、無料で使用できます。産官学連携で市内の一地区で実証実験を行う考えはいかがですか。

答弁 市も積極的に参画し、理解の醸成と取り組みの支援を行います。

2 ふるさと納税施策の推進と今後の展開について

(1) 新たな地場産業の創出・事業者誘致を目指す「ふるさと納税3・0」導入への見解について

質問 自治体クラウドファンディングによる新たな取り組みへの見解を伺います。

答弁 まずは、令和8年度の事業者支援補助金を周知し、返礼

品開発につなげる取り組みを行います。状況によっては「ふるさと納税3・0」も有効な手段となり得るため、他市町村の情報収集を行います。



会派に属さない議員

個人質問

花崎 由貴子



1 ふじのこ学級について

質問 令和8年4月より、藤井寺南小学校の放課後児童会ふじのこ学級をシュラホールに設置されました。学校以外の設置は初めての試みですが人員配置は以前と変わりはありませんか。

答弁 支援員1人指導員2人の同様の体制で運営しています。

質問 学校内での開設場所の確保が困難な状況です。今後の利用見込みはいかがでしょうか。

答弁 利用者は横ばい傾向です。

要望 学校以外の設置は隣接していても現場は困難な問題を抱え負担感が多く疲弊し児童にも影響があると考えます。場当たり的な対応は止め、教室不足の状況を打破するために、学校内に専用の施設の新設を求めます。

2 学校における熱中症対策について

要望 熱中症から身を守るために安心して水分補給できる環境整備の一環として全校にウォーターサーバーの設置を求めます。

3 給食無償化にかかる非喫食者の対応について

要望 食物アレルギー等で給食を喫食しない児童を交付金対象者としていますが、不登校児童等も対象となるよう求めます。

4 電動車いす利用者の移動に関する支援について

質問 実証運行中のデマンド型乗合タクシーに電動車いす利用者は乗車できるのか伺います。

答弁 電動車いすに乗ったまま乗車はできません。

要望 デマンド型乗合タクシーの割引制度は乗車できる場合のみです。乗車できない方に対しての助成については市は部局横断的な検討と公共交通会議へは電動車いす利用者など様々な当事者の方の参加を求めます。



令和8年第1回臨時会議決結果一覧

※表の見方 「○」は賛成 「×」は反対

議案番号・議案名		会派・議員名		改 革		ふ じ い で ら			公明党		政新クラブ		日本共産党		維新の会 大 阪		無会派		無会派		結 果
				山本 忠司	畑 謙太郎	横山 太喜	片山 敬子	伊藤 政一	水谷 雄路	國下 尊央	岡本 光	木下 誇	長尾 匡浩	河井 計実	松木 洋介	花崎由貴子	生田 達也				
報告第2号	専決処分の承認を求めることについて（市税条例の一部改正）	議長の ため表決 せず	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承 認	
報告第3号	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度藤井寺市一般会計補正予算（第14号））		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承 認	
報告第4号	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度藤井寺市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号））		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承 認	
議案第23号	藤井寺市監査委員の選任につき同意を求めることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 意	

令和8年第2回定例会議決結果一覧

※表の見方 「○」は賛成 「×」は反対 「－」は地方自治法の規定により採決不参加

議案番号・議案名		改 革	ふ じ い で ら			公 明 党			政 新 ク ラ ブ		日 本 共 産 党		大 阪 維 新 の 会		無 会 派		結 果
			畑 謙 太 朗	山 本 忠 司	横 山 太 喜	片 山 敬 子	伊 藤 政 一	水 谷 雄 路	國 下 尊 央	岡 本 光	木 下 誇	長 尾 匡 浩	松 木 洋 介	河 井 計 実	花 崎 由 貴 子	生 田 達 也	
議案第24号	公の施設の指定管理者制度に係る関係条例の整備について	議 長 の た め 表 決 せ ず	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	原案可決
議案第25号	市税条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第26号	藤井寺市介護保険条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第27号	藤井寺市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び藤井寺市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第28号	藤井寺市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び藤井寺市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第29号	藤井寺市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び藤井寺市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	原案可決
議案第30号	藤井寺市公共下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第31号	藤井寺市生涯学習審議会条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第32号	藤井寺市立市民運動広場条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第33号	柏羽藤環境事業組合規約の変更にに関する協議について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第34号	大阪府後期高齢者医療広域連合規約の変更にに関する協議について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第35号	大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う大阪広域水道企業団規約の変更にに関する協議について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第36号	藤井寺市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		○	○	—	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	同 意
議案第37号	令和8年度藤井寺市一般会計補正予算（第1号）について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第38号	旧慣による公有財産の使用権の廃止について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同 意
議会議案第4号	市長の専決処分事項の指定についての一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

令和8年第2回定例会報告

- ・令和7年度藤井寺市一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について
- ・令和7年度藤井寺市公共下水道事業会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について
- ・令和7年度藤井寺市介護保険特別会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について
- ・公益財団法人藤井寺市地域サービス公社の経営状況の報告について
- ・公益財団法人藤井寺市勤労者互助会の経営状況の報告について